

木津市場『篠山神社例祭』

9月26日（火）、大阪市浪速区にある難波八阪神社内の篠山神社境内にて、大阪木津市場カンパニーと市場協会の関係者15名が集い、篠山十兵衛代官を祭る例祭が斎行されました。

篠山十兵衛代官は、江戸時代からこの地域の代官として勤務し、摂津、河内、播磨の三国の惣代を務め、住民たちがこの地に青物市場を開設するよう嘆願し、当代官の尽力により木津市場の開設が許可される契機となりました。その功績を記念し、難波八阪神社に篠山神社が創建されました。例祭は、毎年9月26日に執り行われています。

例祭の式では、お酒や野菜、鯛、乾物などが神社に奉納され、また、神官による木津市場の繁栄発展を祈る祈祷も行われました。

この神事は、大阪木津市場カンパニーと市場協会の関係者にとって重要な日であり、篠山神社のご加護を仰ぎ、木津市場の繁栄を願って行われております。

今後も、木津市場は地域コミュニティとの協力を大切にし、より一層の発展を目指してまいります。





- 感謝の意を込めて木津市場のお酒や野菜、魚、果物、乾物などを神社に奉納。
- 神官による木津市場の繁栄と発展を祈願する祈祷式。
- 市場の開設を認めてくれた代官に感謝の意を表す木津市場の関係者たち。



■ 大阪の難波に位置する難波八阪神社



■ 難波八阪神社にある獅子殿

<https://nambayasaka.jp>

■ 難波八阪神社境内にある篠山神社

